

# 日本賢人会議所

## 第3号

### 理事会および総会

次の通り、総会および理事会が開催されました。

3月24日14:00～16:00 第4回理事会「平成28年度事業計画案及び収支予算案の承認」 青山オーバルビル15F

5月27日14:00～16:00 第5回理事会「平成27年度事業報告案及び収支決算報告案の承認」 参議院議員会館会議室

6月16日14:00～15:30 第2回定時総会「平成27年度事業報告等について報告、平成27年度決算報告書の承認、理事の選任について」 青山オーバルビル15F

6月16日15:30～16:00 臨時理事会「総会における理事選任を受けた、会長、副会長、理事長、副理事長などの選定」 青山オーバルビル15F

また、上記会議への対応、規定等や組織の整備、活動の企画や運営などに関連して、正副会長、正副理事長、監事、事務局参与による「正副会長会議」を次の通り開催しました。

平成27年 8月6日、9月11日、10月13日、11月16日、12月14日、

平成28年 1月18日、2月15日、3月11日、4月20日、5月10日、6月13日、7月11日



ご挨拶

会長 橋本久美子

梅雨も明けて本格的な夏が参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。1年ぶりに会報3号をお届けいたします。今後は出来だけ発行を増やし、活動の詳細や会員の皆様をご紹介する予定です。

日本賢人会議所の事業や活動について、ご意見やアイデアをどうかお気軽にお寄せください。設立から満2年を迎えようとしておりますが、皆様で有意義かつ楽しい活動にしていましょよう。

しばらく暑い日が続きます。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

### 月曜セミナーなど

この1年につぎのようなセミナーやイベントが開催されました。

#### 平成27年

- 8月17日月曜セミナー  
「老年よ大志を抱け」 日本未病システム学会 福生吉裕理事長
- 9月28日月曜セミナー  
「ふるさと納税が日本再生・地方再建のカギ」 NPO法人長崎の風 増田泰之幹事
- 10月19日月曜セミナー  
「Enjoyエクササイズで健幸華齢」 筑波大学大学院 田中喜代次教授
- 11月16日月曜セミナー  
「スーパー神話 古事記の世界」 昭和音楽大学 國武忠彦名誉教授、 舞踏家・芸術監督・演出振付家 西島数博氏、脚本家 市川愉実子氏、 女優 柴田（市川）美保子氏
- 12月14日月曜セミナー



平成27年8月17日  
「老人よ大志を抱け」 福生吉浩先生

## 年内の月曜セミナー および田町サロン

月曜セミナーも田町サロンも、会の活動に関心をお持ちの非会員の方を歓迎いたします。

田町サロンは会員同士の親睦や情報交換の場として、お気軽にお立ち寄りください。

9月13日火曜日17:00～ 田町サロン  
9月26日月曜日17:00～ 月曜セミナー  
(講師 (株)学生情報センター代表取締役社長西尾謙氏 仮題「外国人材育成・留学生支援など」 青山オーバルビル15Fセミナールーム)

10月11日火曜日17:00～ 田町サロン  
10月17日月曜日17:00～ 月曜セミナー (講師未定)

11月14日月曜日17:00～ 田町サロン  
11月21日月曜日17:00～ 月曜セミナー (講師未定)

12月12日月曜日17:00～ 田町サロン  
12月19日月曜日17:00～ 月曜セミナー (講師未定)



「古事記朗読 やまとかたり」 大小田さくら子氏、「御製奉唱」 斎藤博子氏

### 平成28年

- 1月18日  
「新年祝賀会」 笛奏者 森田梅泉氏
  - 2月15日月曜セミナー  
「わたしの仕事、わたしの活動、わたしの人生」 メイクアップアーティスト カオリ・ナラ・ターナー氏
  - 3月24日月曜セミナー  
「夢ありき」 元日野自動車副社長 茂森 政・和子氏ご夫妻
  - 4月12日 第1回田町サロン
  - 4月25日  
「多子化健全社会構築に向けての提言：ワークショップ」 ゲストスピーカー 鈴木信行氏
  - 5月10日 第2回田町サロン
  - 5月16日月曜セミナー  
「災害対策は義理と人情で」 相馬市立谷秀清市長
  - 6月2日  
「南太平洋の子供たちを2020年東京五輪に招くためのチャリティゴルフ (市原市ウッド&ブリックGC)」 および「サステナブル・ビレッジ土太郎村見学」
  - 6月13日 第3回田町サロン
  - 6月16日 平成28年度定時総会月曜セミナー  
「少子化という静かなる有事」 産経新聞社論説委員 河合雅司氏
  - 6月20日月曜セミナー  
「セカンドライフの楽しみ方」 元毎日新聞常務 中島健一郎氏
  - 7月11日  
「25周年記念キシコ国際交流音楽会」 (南太平洋の子供たちを2020年東京五輪に招くためのチャリティあり)
  - 7月19日 第4回田町サロン
  - 7月25日月曜セミナー  
「古事記が語り継ぐ、上代日本語の霊力」 元主婦の友社編集長、武蔵野大学講師 原山建郎氏
  - 8月9日 第5回田町サロン
- 以上のほかに、小グループでの「多子化健全社会構築に向けての提言」検討や事業企画推進委員会による活動内容にかかる意見交換などが行われました。





#### 平成27年10月19日

横峰さくらや100歳を超える女性ゴルファーの支援もされている筑波大学大学院田中喜代次教授に「**健幸華齡≡健康長寿**」についてご講演頂きました。「健 Healthy 健康やかに」「幸 Happy 幸せに」「華 Brilliant 華やかに」「齡 Aging 老いていく」ために、未病の状態で過ごすよう、心がけるべき日々の良い行動について具体的な事例をまじえて伺いました。



#### 平成27年11月16日

「**スーパー神話 古事記の世界**」と題して、長年にわたり古事記の研究を重ねてきた昭和音楽大学國武忠彦名誉教授に古事記について講義頂きました。また、国際的なダンサー・芸術監督・演出振付家である西島数博氏と「市川本古事記」をライフワークとする女優市川美保子氏と脚本家市川愉実子氏に「**ドラマチック古事記**」について語っていただきました。



#### 平成27年12月14日

「**古事記朗読 やまとかたり**」として大小田さくら子さんに、声に出す古事記、やまとことば、音魂、言霊、日本人の自然観などについてご紹介頂きました。また、「御製奉唱の会」の代表斎藤博子さんに、明治、大正、昭和、平成と四代にわたる天皇陛下の御歌を奉唱、ご紹介頂きました。



#### 平成28年2月15日

国際的なメイクアップアーティストのカオリ・ターナーさんに「**その半生と思い**」を語っていただき、女性のためのメイク、映画の特殊メイクもご披露頂きました。また、若い人にはもっと日本を飛び出して、世界を知ってほしいとの熱い想いを語っていただきました。月曜セミナーでは最多の60名を超える方々に参加頂きました。



#### 平成28年3月24日

「**夢ありき**」と題して日野自動車副社長だった森政茂さんと奥様の和子さんに、脳性小児麻痺のご長男が次々と夢を実現していった軌跡、家族の絆、ご長男に刺激を受けて設立した障害を持つ若者の勉学を支えるNPO法人など、その思いや夢を語っていただきました。



## プロジェクトなど

## 多子化推進プロジェクト

「多子化健全社会構築に向けての提言」が佐伯浩明氏を中心にまとめられ完成に近づきつつあります。最新版をご要望の方はご一報願います。多子化対策・少子化対策については、すでに、様々な視点からの提言があり、かなりの施策の遂行が見られますが、これを大きく分類すると、

- ◆ 若い世代の所得の安定確保（キャリアアップ対策、奨学金返済支援等を含む）
- ◆ 結婚支援等（相談、結婚のための住宅支援等を含む）
- ◆ 妊娠・出産支援（不妊対応を含む）
- ◆ 子育て支援（待機児童解消、子育てのための住宅支援等を含む）
- ◆ 働き方及び働く場における多子化対策・少子化対策に資する環境整備（育休取得対応、残業縮小対応、男性の育児参加等を含む）
- ◆ 卵子・精子の老化対策
- ◆ 墮胎防止対策
- ◆ 国民の人口問題に対する意識の共有
- ◆ 「子宝ファンド」創設の提言 高企業子宝率の会社の顕彰

などが挙げられます。

日本賢人会議所の今回の提言においては、これらのうち数点に絞って深堀することにしており、また、人口減少問題への対策として移民などについての議論にも方向性を見出すことが急がれています。

南太平洋の子供たちを2020年東京五輪に招く  
チャリティプロジェクト

日本と歴史的にも地理的にも関係が深く、四方を海に囲まれた国として助け合いたい南太平洋の島々は、4年に1度のオリンピック・パラリンピックに参加する選手も限られており、まして開催国になることも

ありません。そのような国々の未来を担う世代を4年後の東京五輪に招いて、日本とはもちろん、世界の国々とつながる機会を提供するチャリティプロジェクトです。

今年6月には千葉県市原市のウッド&ブリックGCでチャリティゴルフコンペが開催されました。

また、本会報で会員紹介した川口希史子ワールドジェクト理事長からも昨年に続き、キシコ国際交流音楽会のチケット収入の一部をチャリティとしてご寄付いただいています。

今後も様々な形でチャリティ活動が展開される予定ですが、併せて具体的な招聘、受入の方法なども検討して行くこととなります。皆様のご協力・ご支援を可能な範囲でいただければと存じます。



## ロイヤルエイジ健康プロジェクト

日本賢人会議所憲章の3番目となる「健康で過ごせるように努めます」を実行するため次のような活動を進めて参ります。

- 「未病システム学会」「代替補完医療学会」などの団体組織との交流・連携
- 「健康づくり」をテーマとした月曜セミナーの開催
- 「未病」にかかるプロジェクトの検討
- 長野美根理事（医学博士）監修による料理教室の開催

## 新役員

第2回定時総会および臨時理事会により、会長以下45名の役員（任期2年）が次の通り選任されました。

No.	氏名	所属	役職
1	顧問 秋本 敏文	財団法人日本消防協会	会長
2	顧問 小田村 四郎	拓殖大学	元総長
3	顧問 嶋津 昭	(株)日本宝くじシステムズ	代表取締役社長
4	顧問 古橋 源六郎	一般財団法人古橋会	理事長
5	顧問 茂木 友三郎	キッコーマン(株)	取締役名誉会長
6	顧問 横倉 義武	公益財団法人 日本医師会	会長
7	顧問 津川 雅彦	(株)グランパパ プロダクション	俳優・映画監督
1	会長 橋本 久美子	社会福祉法人 日本介助犬協会	会長
2	副会長 奥山 俊一	(株)日本総合研究所	特別顧問
3	副会長 栗山 昌子	アジア婦人友好会	元理事長
4	副会長 松本 英昭	一般社団法人 地方公務員共済組合協議会	会長
5	副会長 渡邊 信	財形信用保証(株)	代表取締役会長
6	副会長 渡辺 利夫	拓殖大学	学事顧問
7	理事長 小早川 明德	地域企業連合会九州連携機構	代表
8	副理事長 重村 正彦	丸善薬品産業(株)	顧問
9	副理事長 千代田 行麿	千代田珈琲インターナショナル(株)	代表取締役社長
10	副理事長 芳賀 敏行	AGCポリマー建材(株)	元代表取締役社長
11	理事 伊佐 裕	伊佐ホームズ(株)	代表取締役社長
12	理事 石飛 勇次	富士学校	元校長
13	理事 泉 宏		政治ジャーナリスト
14	理事 市川 美保子	市川本古事記製作プロジェクト	代表
15	理事 大石 明	(株)国際研修サービス	元代表取締役
16	理事 大石 正昭	(株)TSIホールディングス	取締役
17	理事 小川 郷太郎	公益財団法人 A F S 日本協会	副理事長
18	理事 表 伸一郎	かんきょう塾ネット	副代表
19	理事 梶 明彦	(株)目黒雅叙園	元代表取締役社長
20	理事 葛城 良二	カツラギ商事(株)	取締役社長
21	理事 金澤 宏次	ユニオン映画(株)	代表取締役社長
22	理事 川口 希史子	ワールドプロジェクト音楽協会	理事長

No.	氏名	所属	役職
23	理事 喜藤 憲一	(株)ケイ・イノベーション	代表取締役
24	理事 倉内 均	一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟	理事長
25	理事 黒澤 正和	公益財団法人犯罪被害救援基金	専務理事
26	理事 小林 泉	大阪学院大学	教授
27	理事 小林 正博	元旦ビューティ工業(株)	営業開発部部长
28	理事 佐伯 浩明		ジャーナリスト
29	理事 坂本 和彦	日本オペラ振興会会員指揮者	指揮者
30	理事 芝井 輝彦	塩野フィネス(株)	元代表取締役社長
31	理事 下重 暁子	下重暁子事務所	代表
32	理事 瀬尾 純一郎	(株)ジェイ・モーゲージバンク	取締役社長
33	理事 高橋 陽子	公益社団法人日本フィランソロピー協会	理事長
34	理事 田林 巖樹	公益社団法人日本退職協会	専務理事
35	理事 坪井 清	(株)日本格付研究所	元常務取締役
36	理事 長野 美根	NPO法人 日本食育協会	理事・医学博士
37	理事 新倉 和歌子	一般財団法人 新倉会	理事長
38	理事 平野 道郎	東武プロパティーズ(株)	代表取締役社長
39	理事 福生 吉裕	博慈会老人病研究所 日本医科大学	所長・教授
40	理事 福永 慶隆	日本医科大学付属病院	名誉院長
41	理事 古澤 昌弘	(株)ライフ・アドバンス	代表取締役社長
42	理事 松本 清司	(株)オフィス・ブレーン	代表取締役
43	理事 水谷 四郎	中部電力/社団法人 日・タイ経済協力協会	顧問・理事長
44	理事 宮下 研一	ウェルリンク(株)	代表取締役社長
45	理事 渡辺 仁史	早稲田大学 創造理工学部 建築学科	名誉教授
1	監事 窪田 武	ブレイクモア法律事務所	弁護士
2	監事 土家 瑞生	UFJ三菱リサーチ&コンサルティング	元取締役専務

上記役員のうち、千代田副理事長（事務局長）、重村副理事長、芳賀副理事長に加えて、小林理事、芝井理事、古澤理事が事務局参与として日本賢人会議所事務局を構成し、これを渡辺仁史理事が支援し、窪田監事が助言しています。事務局会議は毎月1ないし2回開催されています。

お問合せ、ご意見などはお気軽に事務局（電話：03-6809-4950 メール：nippon@kenjinkaigisho.com）にお申し付けください。



## 会員紹介

今回は社会貢献活動に携わるお二人の会員をご紹介します。今後、順次多くの会員をご紹介しますので参ります。

### 「国際交流音楽会を四半世紀続けて」



NPO法人ワールドプロジェクト音楽協会理事長  
川口希史子さん（中列左から2人目）

### 25周年を迎え7月イイノホールで大好評だったキシコ国際交流音楽会のはじまりは？

1991年からとなりますが、それ以前から音楽仲間から声がかかり、彼らの役に少しでも立てるのならという気持ちで彼らの為に活動していました。91年からは、韓国、中国、日本の現代作品によるピアノ競演、声楽の競演に限定し、それに米国、シンガポール、今年タイと参加する国が増えてきました。伝統楽器を取り入れたのは昨年24周年から2回目、伝統楽器の音楽に対するお客様の喜びのご意見からでした。

### 組織を持たずに個人で始められた音楽会、ご苦労があったでしょう？

苦労というよりも笑い話が多くて、何も考えずにここまでこれましたが、毎回一期一会の気持ちで人と繋がって来ました。自分から動くのではなく人によって動かされてやってきていますので、不思議に奇跡的な事を感じる事が多く、また音楽会を通して神の存在を教えられているような気さえいたします。また、一期一会の如くに人様のご尽力やご支援を頂き、感謝することばかりでした。というのは、自分の意志で始めたのではなく、誰かの為にと行うようなとこ

ろでしたから、だからここまで25年間続けられたのかもしれませんが。ですが、時々もっと他の道があったのではないかと考えさせられる事もあります。

### 隣人として助け合うべき中国や韓国とは機微な関係でもありますよね。

当時の時代背景は、私自身よく分かっていなかったのです。韓国と中国の国交が回復されていない事情などまったく分かっていなかったから、思いっきり両国の大使館にぶつかっていったのだと思います。何故なら米国に留学していた時に助け合った音楽仲間が華僑や朝鮮半島から来ていた人でしたから、お互いに白人世界に向かって一緒に頑張る事が出来たので、コンサートをやるのならば、この三か国の人達と一緒にしなければ意味がないと私自身の経験から思っていました。ですから、中国、韓国と微妙な関係なんて考える余地もありませんでしたね。

### 「古事記とおもてなし-和の精神を学ぶ-」の著作がありますね。

国際交流をテーマに音楽活動をしていますと、中国、韓国の人達にはわが国の文化は、彼等の国からきていると言われ続けていましたので、日本の文化は、神社文化、つまりは、独自の精神文化を彼らに伝えなければ、という使命感にかられました。私はミッシヨンスクールでしたので、子供の頃からキリスト教文化を身につけてきましたが、結婚後、現在まで、伊勢神宮、出雲大社の神道の勉強（古事記の勉強会）に参加してきました。そういう事から、自分なりの解釈で古事記とおもてなし～和の精神を学ぶ～を英文対訳付きで昨年8月に学研から出版させて頂きました。

### 日本賢人会議所の活動に対するご意見は？

現在まとまりつつある「少子化問題・多子化プロジェクト」については、議論が同じところでぐるぐる回っているような印象を拭えません。未来のこともあり、もっと会議所としても若い人の中に入っていき、若い世代の意見を取り入れていく必要があ

と感じます。女性を35歳で再雇用する制度を現実のものにして、若い世代に対する経済的支援はキャッシュを含めて10年スパンくらいを決めて大胆に実行する必要がありますね。そのためには、より強く政治家や行政も巻き込んで進めたほうが良いかと思えます。

### 「ともに楽しむスペシャルオリンピックス」



(株)さくらリアルティー代表取締役・NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京ファンドレイジング委員会委員長、バスケットボール認定コーチ

**岩田圭一さん**

### リオ・オリンピックが始まりますが、岩田さんとスペシャルオリンピックスとの出会いは？

バスケットボールが好きで、中学ではじめて社会人になっても続けていると、ある日スペシャルオリンピックス(SO)に携わる先輩からコーチの依頼がありました。聞けば、1960年代ケネディ大統領の妹が知的障害者で、それまで「表に出られなかった知的障害者にも社会的尊厳を」と大統領も演説し「4年に一度ではなく、いつでも、どこでも、みんなと一緒に楽しめるスポーツ」として始まったとのこと。4年に一度のパラリンピックにも、水泳や陸上などごく限られた競技に自閉症など知的障害者が参加する機会がありますが、SOにはバスケやフロアホッケーなど26競技あり、だれもが参加できて、勝敗や記録を求めるよりも、パスをつないで連帯することやルールを守って一緒に楽しむことに重点がおかれています。

### 日本にもSOの組織があるのですか？

日本では21年前に細川佳代子氏をトップに設立され、現在の理事長は有森裕子氏、NPO法人として都道府

県単位で活動しており、私はSO日本・東京に所属しています。国からの助成は無く、もっぱらNPO会員、一般個人、企業からの寄付によって活動が行われています。ユニクロ、TOYOTAなどからの寄付もありますが、日本の企業には従来から支援先が沢山あることから、SOには外資系企業の支援が大きいことも事実です。SOで頑張るアスリートやそれを支える家族、ボランティアコーチの姿を通じて、障害者への理解が深まれば良いと思いつつ、自身も楽しみながら活動しています

### 具体的にはどのような活動をするのですか？

スポーツのプログラム作り、コーチ、会場設営、準備・運営などを家族の皆さんと共同して行います。ボランティアコーチの平均年齢は70歳くらい、60代のわたしは若い方で、卓球の元世界チャンピオン、水泳やボーリングの往年の名選手も活躍しています。例えばバスケットは都内に7会場あり、平日の夕方や週末などの時間帯、運動のレベルも様々なものから自分にあったものを選択できます。ただ、参加する知的障害のある方々が楽しみながらすこしずつ成長する、そのゆったりした進歩にじっくり辛抱強く取り組む姿勢が求められます。そのようなことから、現役のアスリートより経験豊かなシニアが活躍する場であるとも思います。興味のある方は気軽にご一報ください。

### 日本賢人会議所との出会いは？

大学同期生の喜藤憲一さん(現理事)とは社会人になってからゼミ仲間を通じて知り合ったのですが、喜藤さんから紹介があり発起人の一人として準備会合から参加しています。学生および社会人を通じて得た人とのつながりは大きな財産ですね。

### 日本賢人会議所の活動に対するご意見は？

準備会合でも様々な議論がありましたが、現在でも何を指すのかももうひとつ明確に見えないところがあります。もっと社会的活動を積極的に取り入れ、取り組み、その様子を情報発信して行きたいですね。会員全体が受身からボランティア意識をもって参加型の活動に軸足をおいて進められればと思います。

